



浜松市博物館情報



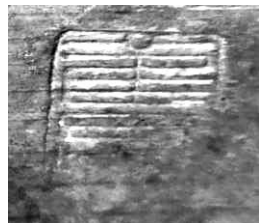
Hamamatsu City History Museum News

2023.10.15
No.358

度量衡器に残る跡

長さ、体積、重さをはかるものさし、枡、秤といった度量衡器は各時代の権力者や法令によって取り締まられてきました。その取り締まりの様子を窺い知ることができ、資料を一部ご紹介します。

江戸時代では、枡や秤はそれぞれ枡座、秤座が製造、販売、修理を管理し、それは明治八年（一八七五）に、度量衡取締条例が公布されるまで続きました。古人見町自治会文書には、翌年七月十二日付の通知に宇布見村（現・西区雄踏町宇布見）で度量衡器の検査



↑（内側）
↓（外側）
↑
を行う旨の記載があります。「尺度穀量権衡御検査御願帳」によると、その検査で古人見村（現・西区古人見町）は鉄製の



写真1
枡に「旧器検」の印



写真2
枡に「新器検」の印

曲尺、穀用枡、千木秤の検査を受けました。また、「諸達上申諸伺書類纏」の明治三三年（一九〇〇）十一月十六日付の「庶第八号」では、同年一月一日に施行された度量衡法施行規則の改正を反映し、伊佐見村（現・西区伊佐見地区）役場は、「本年以後二於テハ一層厳正二取締ヲ施行可致等二付」とし、違法となる主な十六の項目を度量衡器を扱う関係者に周知しました。その項目の中には、明治三三年一月一日以後に使用する度量衡器には必ず「定」もしくは「改」の検印がないものは使用してはならず、検印がないものを使用した場合は罰金を科すこと、明治二六年（一八九三）以前に製作された器物で、改造、修復を行ったり、検印のないものは使用してはならないことなどが書かれています。

実際の資料を見ると、写真1の枡には「旧

器検」の印が押されています。写真2の枡には「新器検」の印が押されています。この検印がない度量衡器は使用することができません。

資料の通知や度量衡器に残る跡から当時の検査の様子を知ることができます。



↑「正」の検印
↓「定」の検印



写真3千木秤の錘

また、写真3の千木秤の錘には、数字や、擦り消えています。「正」と「定」の印があります。数字は検査を受けた年を、「正」や「定」は検査に合格した証である検定証印です。「定」の印が使用される以前は、「正」の印が使用されてきました。「庶第八号」で触れている通り、この検印がない度量衡器は使用することができません。

【博物館所蔵資料の紹介】

とます とかき 斗枴と斗概



斗枴は一斗(約 18^{リットル} L)を量る穀用の計量器で、方形のものと円筒形のものがあります。しかし、円筒形の枴が正式に採用されるようになるのは、明治 24 年(1891)の度量衡法からで、それまでは方形の枴のみが正式な枴とされていました。大正 3 年(1914)からは斗枴は円筒形のみと定められました。写真の資料は明治 37 年(1904)～昭和 10 年(1935)頃まで米を量る際に使用されました。斗枴は米や豆など穀類を量るための枴で、液体を量ることはできません。

穀用の枴を使用する際は、斗概が必要になります。斗概は斗棒などとも言います。米などを量る時、多めに盛った米を枴の縁の高さに合わせ盛り上がった分掻き落とします。枴の大きさによって使用する斗概の大きさが決まっています。斗概は江戸時代では、枴座の対象器物とはされてなく、明治 8 年(1875)に公布された度量衡取締条例により斗概も度量衡器に指定されます。写真の斗概にも「定」の検定証印があります。

【参考資料】

小泉袈裟勝『ものと人間の文化史 36 枴』法政大学出版局(1980)

催し物のご案内

★テーマ展「はかる」

11月11日(土)～2024年1月8日(月)

長さ・量・重さなどをはかるための道具、ものさしや枴、秤などがどのような場面で使用されてきたか紹介します。

☆ギャラリートーク

11月15日(水)・1月6日(土)

10:00から30分程度 申込不要

☆第6回はまはく講座「はかる道具のいろいろ」

12月23日(土)10:00～11:00

要申込(受付:11月22日～12月7日 詳細はHP等参照)

☆ワークショップ「はかる道具を使ってみよう!」

12月28日(木)

① 9:00～11:30 ②13:00～15:00

申込不要

★小展示「家康ゆかりの地パネル展～中区編～」

開催中～2024年1月8日(月)

徳川家康ゆかりの史跡等をパネルで紹介します。

★小展示「社会科自由研究優秀作品展」

10月7日(土)～10月29日(日)

市内の小・中学生による自由研究の優秀作品を展示します。

★小展示「道具たちの100年」

11月7日(火)～2024年5月19日(日)

小学校社会科「道具とくらしのうつりかわり」に合わせ、くらしの道具の変遷を紹介します。

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

11月11日(土)、12月9日(土)

14:00から30分程度

場所: 蛸塚公園内旧高山家住宅

参加無料、事前申し込み不要



※各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
X(旧ツイッター)
Instagram



浜松市博物館

開館時間: 9時～17時

〒432-8018 浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール: hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

10～12月の休館日: 10/16,23,25,30, 11/6,13,20,22,24,27, 12/4,11,18,25,29,30,31

電話: 053-456-2208

FAX: 053-456-2275

HP: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>